

13141 幼児体育 a、b Physical Education for Children		2 年次～ 通年 2 単位	
担当者	木村 元子	履修可能学科	E Pc C W F
		関 連 資 格	教職・保育必(P c)
サブタイトル	幼児期の運動発達と運動あそびの指導法		
授業内容・ねらい	幼児の運動あそびは、子どもの「遊び」が本来もっている「自発的・積極的・創造的で自由な」活動を基本に調和的な健康づくりをめざすものです。 この授業では、運動遊びを通して、幼児期の運動技術を習得させていくために実際どのように指導していけばよいのかを、講義と実技を通して、段階的・系統的に学んでいきます。その中で、幼児に対して体育的な指導を行うために正しく理解しておきたい基礎的理論（発育・発達の知見、指導方法など）についても学習していきます。		
授業計画	1. 幼児のこころとからだの健康について 2. 幼児の体育指導がめざすところ 3. 幼児期の運動と安全 4. 幼児期の運動機能の発達 5. 幼児期の運動機能の発達に見合った指導 6. 運動の基本型と体育教材の構造 7. (実技) 大型遊具の見方・考え方と指導法 (1) 8. (実技) 大型遊具の見方・考え方と指導法 (2) 9. (実技) 基本の運動：力試しの運動 10. (実技) 小型遊具の見方・考え方と指導法 (1) 11. (実技) 小型遊具の見方・考え方と指導法 (2) 12. (実技) 基本の運動：器械・器具を使って 13～15. (実技) ボールを使ったあそびとその指導法（投げる・捕る・打つ・蹴る） 16～18. (実技) かけっこ・鬼ごっこのねらいと指導法 19～20. (実技) 現遊びの考え方と指導法 21～22. (実技) 運動会の捕らえ方と指導法 23～29. 模擬指導 30. 指導課題と評価について、およびまとめ		
教科書 参考書	参) 井上勝子編著『運動遊び』（建帛社）他		
評価方法	1. 出席 2. 受講態度 3. 学習カードの提出 4. 課題実技評価 5. 試験の総合評価とする。		
事前準備学習 履修条件等	・実技時にはトレパン類に着替える。		